



令和2～6年度を計画期間とする標記計画について、中間年である本年度において現状を踏まえた見直しを行うにあたり、方向性を検討するもの。

令和4年7月27日
令和4年度第1回北上市子ども・子育て会議
健康こども部子育て支援課

1 計画の中間年見直しに係る背景

◇保育利用申込数の減少（コロナ禍における全国的な出生数減少）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
出生数	724	673	627	640	548	549
翌年度4月入所の 利用申込数	610	643	656	623	596	480



令和3年4月以降、待機児童がゼロに

◇今後における私立保育所等の定員増加予定

時期	区分	施設名など	増加定員
令和5年4月	認可 移行	(仮)たちばなこども園	15人 (教育利用)
令和6年4月	新設	(仮)岩手保健医療大学附属認定こども園	102人
令和6年4月	改築	北上保育園	18人



令和6年4月に大幅な定員増加が見込まれる。

2 中間年見直しの方向性

現行計画と現状の乖離（待機児童ゼロの達成、私立施設の増加など）を踏まえ、保育の必要量・供給量を分析した上で計画を見直す。

【スケジュール】

- 7月：子ども・子育て会議へ方針を提示
- 8～11月：保育の必要量・供給量を分析
- 1～2月：計画見直し案を市の内部で確認
- 2月：計画見直し案を子ども・子育て会議へ提示、決定
- R5年度～：見直した計画を基に今後の施策を検討

3 令和4年度に実施する施策

公立保育園の定員削減

近隣に代替施設がある公立施設を中心に、1～2歳児の定員を合計で25人程度削減する。
※ 3～5歳児は、在園児の進級や小規模保育事業所卒園児の入園が見込まれるため、来年度以降から順次削減し、全体として60人程度の削減を見込む。

【スケジュール】

- 10月：子ども・子育て会議に定員削減を提示
- 11月：令和5年4月入所の募集開始